

NI Developer Suite™

インストール方法

ナショナルインスツルメンツでは、NI Developer Suite ソフトウェアを以下の順序でインストールすることをお勧めします。

1. LabVIEW、LabWindows™/CVI™、Measurement Studio、TestStand などのアプリケーションソフトウェア
2. LabVIEW Real-Time モジュールなどのアドオンモジュール
3. Microsoft Office 用 LabVIEW レポート生成ツールキットなどのアドオンツールセット

NI デバイスドライバ CD セットの使用法

NI デバイスドライバ CD を使用して、任意の組み合わせによるデバイスドライバのインストールを行うことができます。以下の 2 つの方法のどちらかで、ドライバを CD からインストールすることができます。

- LabVIEW、LabWindows/CVI、または TestStand を含むアプリケーションソフトウェアのインストールの際に、デバイスのドライバをインストールします。このインストールにはデバイスドライバ CD が必要です。
- NI デバイスドライバ CD セットを使用して、デバイスドライバを別途にインストールします。Disk1 を挿入すると、インストーラのプログラムが自動的に起動します。また、Disk1 の最上位のディレクトリから `setup.exe` を実行する方法でインストーラを起動することもできます。

CVI™、IVI™、LabVIEW™、Measurement Studio™、National Instruments™、NI™、ni.com™、NI Developer Suite™、および TestStand™ は、National Instruments Corporation の商標です。本書に掲載されている製品および会社名は該当各社の商標または商号です。National Instruments 製品を保護する特許については、ソフトウェアに含まれている特許情報（ヘルプ→特許情報）、CD に含まれている `patents.txt` ファイル、または `ni.com/patents` のうち、該当するリソースから参照してください。



詳細については、NI デバイスドライバ CD の Disk1 にある `readme.html` を参照してください。

IVI ドライバツールセット CD の互換性に関する問題

NI デバイスドライバ CD に含まれる IVI Driver Toolset 1.1 (IDT 1.1) ドライバツールセットおよび IVI Compliance Package 2.0 は、互換性がありません。IVI Compliance Package 2.0 は、IVI 計測器ドライバの最新の IVI Foundation の仕様に適合しています。IVI Compliance Package 2.0 は、3 つの新しいクラスドライバ（パワーメータ、RF 信号生成器、およびスペクトラムアナライザ）を提供します。更に、NI-Switch には IVI Compliance Package 2.0 が必要となりました。

IVI Compliance Package 2.0 をインストールするには、まず IDT 1.1 をインストールする必要があります。IVI Compliance Package 2.0 をインストールする場合には、IVI クラスドライバを使用する既存または新しいアプリケーションでは、上級シミュレーション、ソフトフロントパネル、および NI-Spy などの機能を使用することはできません。



メモ IVI Compliance Package 2.0 のアップグレードが原因で IDT 1.1 で作成したアプリケーションにおける機能が失われる場合には、引き続き IDT 1.1 を使用することをお勧めします。このような場合には、IVI Compliance Package 2.0 をインストールしないでください。

詳細については、NI デバイスドライバ CD の『IVI Compliance Package 2.0 Release Notes』の「Upgrade Notes」のセクションを参照してください。